

岡倉天心記念 がん哲学外来・巣鴨カフェ「桜」
カフェ主宰 山本ひろみ

私は20数年前、看護師をしていた頃 AYA 世代で肺の進行がんのため片肺を摘出。3年前には乳がん。昨年は遠隔転移がみつきり治療を始めましたが、片肺により治療が困難になりました。肺の手術以来、後遺症のため「目下の急務ただ忍耐あるのみ」という時も長く過ごしてきました。今回治療に行き詰まり、初めて「がん哲学外来」を知り、樋野先生の著書「いい覚悟で生きる」を読み20数年間の自分が癒されていくのを感じ、涙が止まりませんでした。

その後先生の面談を経て、カフェを開くことを決意し今年2019年7月から月に1回開催しています。会場は、日本を英語で世界に紹介した偉人の三人の中のひとり、岡倉天心の眠る染井霊園近くの訪問看護ステーションで、染井吉野発祥の地でもあります。

医師から厳しい予後を宣告されていますが、心身ともに良い状態を維持できているのは、がん哲学外来との出会いのおかげです。私が20数年かけてやっと出会ったがん哲学外来、1人でも多くの方に気軽に足を運んでいただけるように、「巣鴨カフェ」を優しく温かい場にするべく持てる力をつくしていきたいと思えます。今それを支えて下さる多くの皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。



岡倉天心記念 がん哲学外来・巣鴨カフェ「桜」

がん哲学外来メディカルカフェは、順天堂大学名誉教授の樋野興夫先生が提唱し全国160か所に広がっています。がんをはじめとする様々な病と共に生きる為に日々の不安や悩みを安心して自由に語り合える場です。患者さんやご家族、医療関係者など、興味のある様々な方のご参加をお待ちしております。



解決できなくても解消はできる
病気であっても病人ではない
その人らしい生き方を...

会場 おんびと訪問看護ステーション
場所 東京都豊島区巣鴨2-1-5
巣鴨第一ビル7階

日時 第3回 9月14日(土)
第4回 10月19日(土)
第5回 11月23日(土)
第6回 12月21日(土)

時間はいつでも 13時～15時30分

参加費 300円

問い合わせ・申し込み先 (代表 山本 ひろみ)
FAX 03-3806-04244
メール gantetu_sakura@yahoo.co.jp
電話 090-8501-0826
(留守番電話にお名前と連絡先をお願いします)

3日前までに上記いずれかの方法でお申し込み



「がん哲学外来・永福南カフェ」にどうぞ！
カフェ主宰 棟方 真弓

2016年9月に突然のがん宣告、1年間の治療が続く中、やり場のない思いに寄り添って心休む場を提供して頂いたのは「がんカフェ」とそこでの出会いでした。

3ヶ月の入院生活と抗がん剤の後遺症は、思いの他、心に大きな傷を残しました。何度か出会った仲間と話すうちに「マイナス×マイナス＝プラス」になり、「解決できなくても解消できる」体験を繰り返し、立ち上がる力が少しずつ蓄えられていきました。

樋野先生から「カフェをやりなさい」と勧められ、思いを共有できる仲間も与えられ、講演会を経て2019年の3月から隔月の土曜、水曜日にカフェを開催しています。

永福南キリスト教会は京王井の頭線の西永福駅から徒歩5分、桜並木の続く神田川の遊歩道沿いにあります。ゆとりがある時は散歩もいかがでしょうか？

木陰のような休み場で重荷を降ろして、少しでも心軽くなって頂きたい…、「永福南カフェ」がそんな居場所になることを願っています。

がん哲学外来 永福南カフェ

がん哲学外来カフェとは
「がんであっても難症を持って生きることでできる社会」の実現を目指し、順天堂大学の樋野興夫先生を主宰者として「一般社団法人がん哲学外来」が設立されました。カフェは、がん当事者のつらさ、ご友人、関心を持つ方が集い、様々な悩みや思いなどを語り合い、得るごときには少しでも気持ちが軽くなるような、心に寄り添う場所です。

2019年の予定 14:00～16:00
第5回 11月16日(土)
2020年の予定 各 14:00～16:00
第6回 1月15日(水)
第7回 3月14日(土)

参加費 無料

●会場
JECA 永福南キリスト教会
〒108-0065 杉並区浜田山 1-2-19
教会HP eifukuminamicafe
牧師：伊藤耕人

●お申し込み先
電話・FAX：03-5317-8210
メール eifukuminamicafe@gmail.com
(担当：棟方)

☆お名前・ご住所・電話番号・メールアドレスをご明記の上、お申し込みください。

●後援：一般社団法人がん哲学外来
www.gan-philosophy.jp/cf



ダイヤモンドプリンセス号「樋野興夫先生と航く ショートクルーズ6日間」(10/2 ~ 7)

がん哲学の学び 上田市 久保田うた子
この度、いつも歌の教室「歌声喫茶・千曲川」で、お世話になっている星野先生に誘われて、ダイヤモンドプリンセス号「樋野興夫先生と行くショートクルーズ6日間」に参加しました。「がん哲学メディカルカフェ」のお手伝いをしてほしいと言われましたが、初めての事なので何をどのようにしていいのか、とまどうばかりでした。事前に(9/18)、議事進行の打ち合わせと学習会を開いて下さったので少し分かったつもりで船上の人となりました。

10/3には18階で「がん哲学～寄り添い個性を引き出す」、10/6には5階で「がん哲学～楕円形の心」の樋野先生の講演を聞き、がん哲学について学びました。また、10/4には「がんと生きる～言葉の処方箋」の上映会もありました。星野先生に誘われた時は軽い気落ちで返事をし船上の人となりましたが今では大いに感謝しています。ありがとうございました。

人生初の船旅 佐久市 山村 静子
人生初の船に乗りました。いつか船旅をしたいと思っていたのですが、星野先生の歌の会「岩村田・歌の旅びと」に参加させて頂いているお蔭で、長年の夢が実現出来ました。

それも初の船旅が全長300メートル弱、2,700人乗りの大型客船「ダイヤモンドプリンセス号」に乗れるとは思ってもみませんでした。

また、がん哲学外来の凄い樋野興夫先生に出会えて身近で親しく講義を聞いたりお話させて頂くことが出来たことは私には考えられないことでした。大きな経験をさせて頂き、大変勉強になりました。今までボーッと生きてきて不勉強だった私にとって刺激となり認知症も少し先に延ばせそうです。こんな経験と出会いの機会を頂き、星野先生と樋野先生に感謝です。

がん哲学クルーズに参加して 小諸市 千田直子
樋野先生の講演会とそのあとの「メディカル・カフェ」、そして上映会「がんと生きる～言葉の処方箋」のお手伝いをしてほしい。星野先生のお誘いを受け、大型船にも乗れると大喜びして二つ返事でした。

お誘い頂いた時点では普通の人間でした。ところがこの9月に乳がんと確定し、患者になりました。ですが、ここでショックを受けるところか涙ひとつ出ませんでした。両親を癌で亡くしています。いつか自分もと覚悟していました。今回の船旅は私にとってラッキーでした。「がん哲学カフェ」を知りましたから、そして「がん友」もできました。



いつの日かカフェを 木更津市 菊池 和子
軽井沢「恵みシャレー」で樋野先生の出版記念会に参加しました。そのあとの「がんカフェ」で私は樋野先生がどの方かも知らず、ご夫婦で座ってる方に軽く挨拶し席に着きました。普通のオーラの方が樋野先生でした。「実るほど頭の垂れる稲穂かな」の言葉を思い出しました。

カフェの後半 星野先生が挨拶をしてくれて私は笑ってしまいました。垣根がなく、裏表がなく、計算のない人…、そこで広報された「樋野先生と航く『がん哲学クルーズ』6日間」に私は迷わず申し込みました。

ダイヤモンドプリンセス号でのクルーズは、ただ楽しかったの一言でした。「相手に開放して欲しいではなく自分が開放されたら良い」の自分軸の旅でした。

樋野先生は、大事な事や核心をサラリと軽く話す方で、故に聴き逃せなく集中して聞かせて頂きました。私自身が病になってからの自分の中の変化が何故か解らずにいたのですが、樋野先生のお話をうかがって全て理に叶っていた事を知りました。「楕円形のこころ」を読ませて頂き、術後の3年の私の変化の理由が一言で書かれていると理解できました。

天に宝を積まれる人、樋野興夫先生のなんと練られたそして核心までの言葉の数々…、この出会いに感謝しています。病になって良かった、と思えました。

研鑽を積んでいつの日か、「メディカルカフェ」を立ち上げたい、心にちかった船旅でした。



ほっとけ、気にするな! 小諸市 平野性一郎
久しぶりにパスポートを取得して「樋野先生と行くショートクルーズ」に参加しました。

先生の講演が2回と映画「がんと生きる」が上映され、がん哲学の参加者と6日間を過ごしました。

樋野先生の話された「マイナス1×マイナス1=プラス1」「ほっとけ、ほっとけ、気にするな」等、がんと生きる言葉が身にしみました。

映画会ではがんと生きる人々の頑張りに心を打たれ私自身の弱さを痛感しました。また、クルーズ参加者の中には今月中(10月中旬)にがんの手術をすることが決まったのに、とても明るく前向きに初めて参加する人の世話をしている姿にビックリしました。



船内の「プリンセス劇場」で。田寺順史郎(制作会社)さんと樋野先生。

